










「いじめ・不登校対策の推進」の取組事例

大分県教育庁日田教育事務所

管内各小・中学校において、いじめ・不登校の「未然防止」に向けた短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」の推進、SC・SSW等の専門スタッフが参加した校内対策委員会の定期的開催等、学校の組織的な取組が進められています。そこで、「1学期取組状況調査」から「成果が表れている」と報告された取組事例を以下に紹介します。自校のいじめ・不登校対策の推進に向けた参考資料としてご活用ください。

「人間関係づくりプログラム」の取組事例

学校	くす星翔中学校	津江小学校	前津江中学校
取組	「どちらを選ぶ」 	アドジャントーク    	「すごろくトーク」「読み聞かせ」  
成果	・「友達のことが新しく知れた」など肯定する感想が多い。 ・「学校が楽しい」と回答する生徒も90%を超えている。	自己肯定感に関するアンケートで3つの項目で肯定的に回答した児童の割合が増えた。	「友だちは、自分のことを分かってくれる」と、学校アンケートで肯定的に回答した生徒の割合が96.2%

学校	戸山中学校	津江中学校	五馬中学校	いつま小学校
取組	コミュニケーションタイム 	日田市教育センター講師による示範授業 	「新聞紙ジグソー」 	「全校あそび」 
成果	学年だけでなく学校全体で仲間づくりを行うのに効果的だった。	「学校生活を楽しく過ごさせている」とアンケートに肯定的に回答している全生徒の割合が100%であった。	「学校が楽しい」とする生徒の割合は88%であった。(学校評価アンケートより)	ごく簡単な「ふれあい活動」を実施。研修をもち組織的な取組を目指している。

SC・SSW等の専門スタッフが参加した校内対策委員会の成果

- ケース会議に専門的な知見をもつSCが参加することにより、保護者に連携に対する安心感をはぐくむことができた。
- OSC、SSWの支援を受け、不登校児童が定期的に登校できるようになってきた。
- 校内対策委員会にSCやSSWも参加してもらうことで、休みがちな生徒の情報共有がすすみ、組織的な取組を遂行していける。
- 不登校や家庭的な要因が考えられる生徒の問題について、地域児童生徒支援コーディネーターやSSWと情報共有し、組織的な対応を行うことができた。